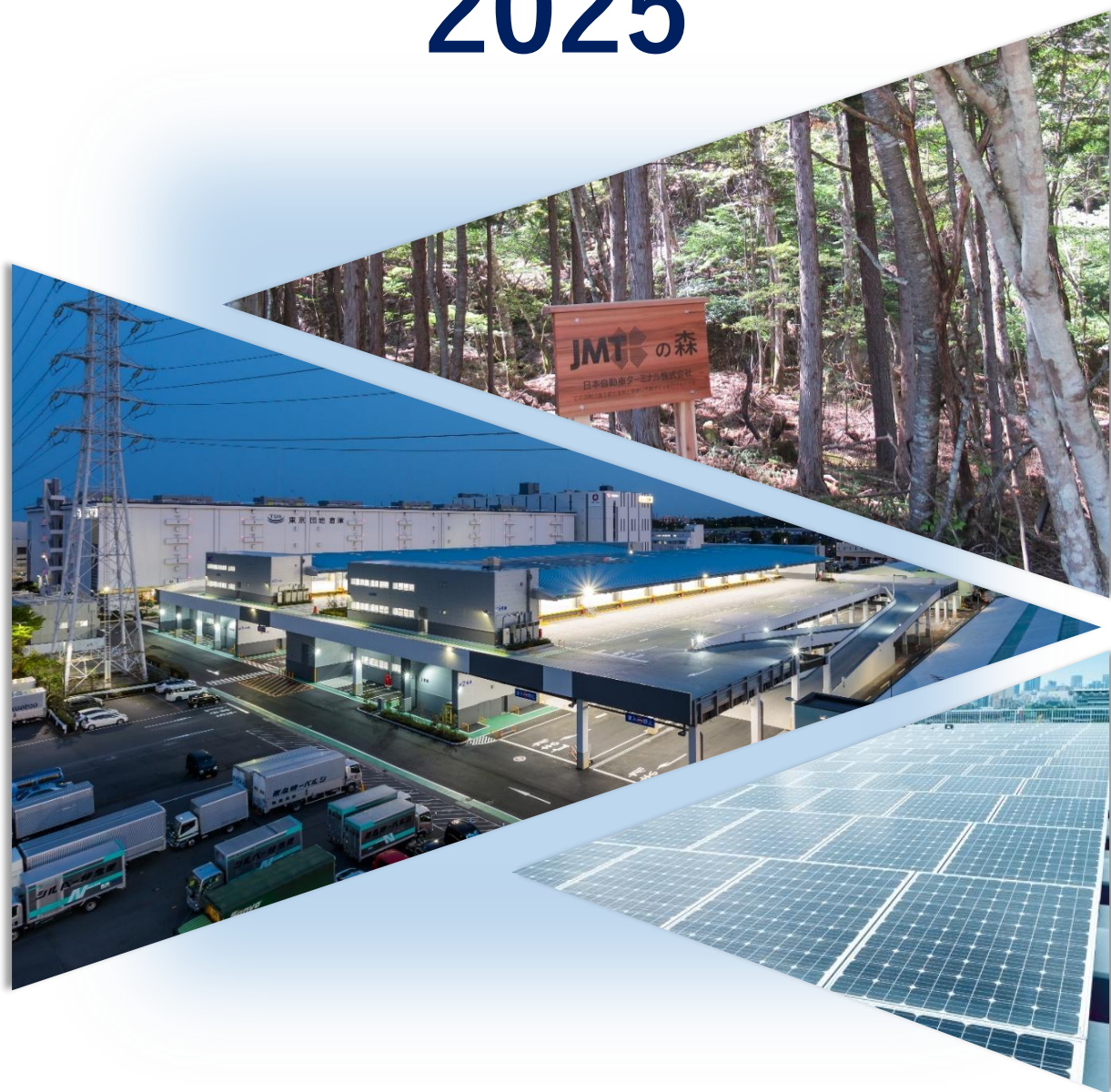


# JMT 環境報告書 2025



Japan Motor Terminal

# 目次

|   |        | ページ                              |    |
|---|--------|----------------------------------|----|
| 1 | はじめに   | 企業理念・経営理念・サステナビリティ重点項目           | 2  |
|   |        | SDGs取組方針                         |    |
|   |        | トラックターミナルの社会的環境貢献                | 3  |
| 2 | 環境対策   | 太陽光発電設備の設置                       | 4  |
|   |        | 水素ステーションの設置・CNGスタンドの設置           | 7  |
|   |        | 省エネ機器の導入と計画                      | 8  |
|   |        | グリーン購入法・FSC認証・間伐材活用素材の採用         | 9  |
|   |        | 脱炭素の取組み                          | 10 |
| 3 | 環境活動   | ゴミ(一般廃棄物)の減量化と再利用                | 11 |
|   |        | 東京水道～企業の森「JMTの森」保全活動             | 12 |
|   |        | 節水・節電・アイドルリングストップの啓発             | 14 |
|   |        | エコキャップの回収                        | 15 |
|   |        | 使用済みクリアホルダーの回収                   | 16 |
|   |        | コンタクトレンズ空ケースの回収                  | 17 |
|   |        | 放置自転車・バイクの回収                     | 18 |
|   |        | ペーパーレス化の促進                       | 19 |
| 4 | 新しい取組み | EV急速充電スタンドの設置                    | 20 |
|   |        | 清掃活動(東京ふれあいロード・プログラム)            | 21 |
| 5 | 資料     | CASBEE Aランクの取得                   | 22 |
|   |        | 省エネ法(エネルギー使用合理化等に関する法律)          | 23 |
|   |        | 東京都環境確保条例(都民の健康と安全を確保する環境に関する条例) | 23 |
|   |        | JMT近年の環境保護への取組み ～ハード面～           | 24 |
|   |        | JMT近年の環境保護への取組み ～ソフト面～           | 25 |

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 企業理念・経営理念・ サステナビリティ重点項目・SDGs取組方針

### 企業理念

物流の合理化、道路交通の円滑化、  
都市機能の向上に資する企業であり続ける

### 経営理念

トラックターミナルを中心に  
質の高い物流施設とサービスを提供し豊かな社会の実現に貢献する

### サステナビリティ重点項目

トラックターミナルならではの環境保全への貢献

- ・トラックターミナル2050年カーボンニュートラル
- ・物流効率化による温室効果ガス削減への寄与
- ・地球環境保全への貢献

### SDGs取組方針

持続可能な経営基盤を維持していくために、「環境対策」を重要課題と位置付け、当社のSDGsの取組みをESGのカテゴリーにて整理した、「ESG/SDGsマトリックス」を作成し、具体的な取組みを継続していく。



## トラックターミナルの社会的環境貢献

日々運び込まれる大量の貨物を行き先方面別に積み替える施設がトラックターミナルです。当社が運営する都内4か所のトラックターミナルは「物流の合理化」「道路交通の円滑化」といった機能を発揮することで環境負荷の低減に寄与しております。

### 物流の合理化

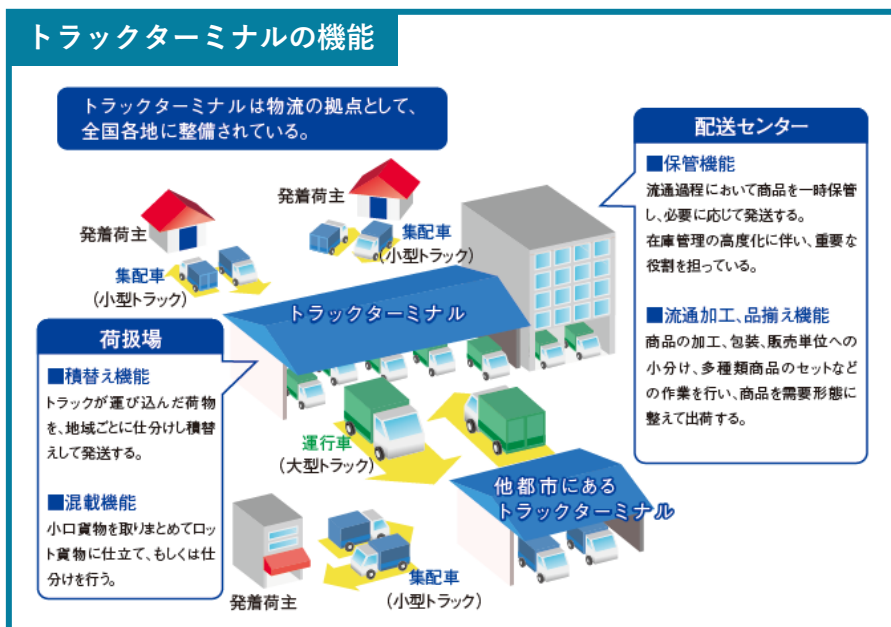
全国各地から大量輸送されてきた貨物を都内のエリア別に仕分けして発送する配送機能と、都内で発生した貨物を集め、全国各地に向けて仕分けし発送する集荷機能を兼ね備えた荷扱場（バース）や、貨物の一時保管・流通加工などを行う配送センター等の物流拠点をトラックターミナルに集約することで、物流の合理化を図り、環境負荷の低減に貢献しております。

### 道路交通の円滑化

都市部の小規模ターミナルを集約し、再配置することで都市内の重複・交錯輸送や中継輸送を減少させるなど交通混雑の緩和と環境問題の改善に貢献しております。

### 都市機能の向上

全国各地からの路線網が集約することで、都心部を通過せずに地方から地方へと輸送される貨物の中継基地として活用されるなど、トラック輸送の合理化及び都市環境の向上に寄与しております。



1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取り組み

5. 資料

## 太陽光発電設備の設置

再生可能エネルギーの積極的な活用として、太陽光発電設備を設置しております。

2010年に京浜トラックターミナル、2013年に板橋・足立トラックターミナル、2015年に葛西トラックターミナルに設置を行い、全ターミナルにおいて太陽光発電設備を設置し、発電を行っております。それ以降も、各トラックターミナルで適宜増設をしております。

直近では、2025年7月に供用開始した板橋トラックターミナル新7号棟に40kWの太陽光発電設備を設置致しました。



京浜トラックターミナル



板橋トラックターミナル新7号棟

| 京浜     |                     | 板橋   |                   | 足立   |                     | 葛西   |                   |
|--------|---------------------|------|-------------------|------|---------------------|------|-------------------|
| 設置場所   | 容量                  | 設置場所 | 容量                | 設置場所 | 容量                  | 設置場所 | 容量                |
| 管理棟    | 72kW<br>(2012.7)    | 管理棟  | 80kW<br>(2013.7)  | 管理棟  | 65kW<br>(2013.7)    | C棟   | 122kW<br>(2015.1) |
| 6号棟    | 50kW<br>(2010.11)   |      |                   |      |                     |      |                   |
| C棟     | 250kW<br>(2015.5)   | 新6号棟 | 120kW<br>(2023.3) | 荷扱場  | 1,062kW<br>(2016.3) |      |                   |
|        | 323kW<br>(2019.11)  | 新7号棟 | 40kW<br>(2026.2)  |      |                     |      |                   |
| ダイナベース | 1,713kW<br>(2018.7) |      |                   |      |                     |      |                   |

1. はじめに

2. 環境対策

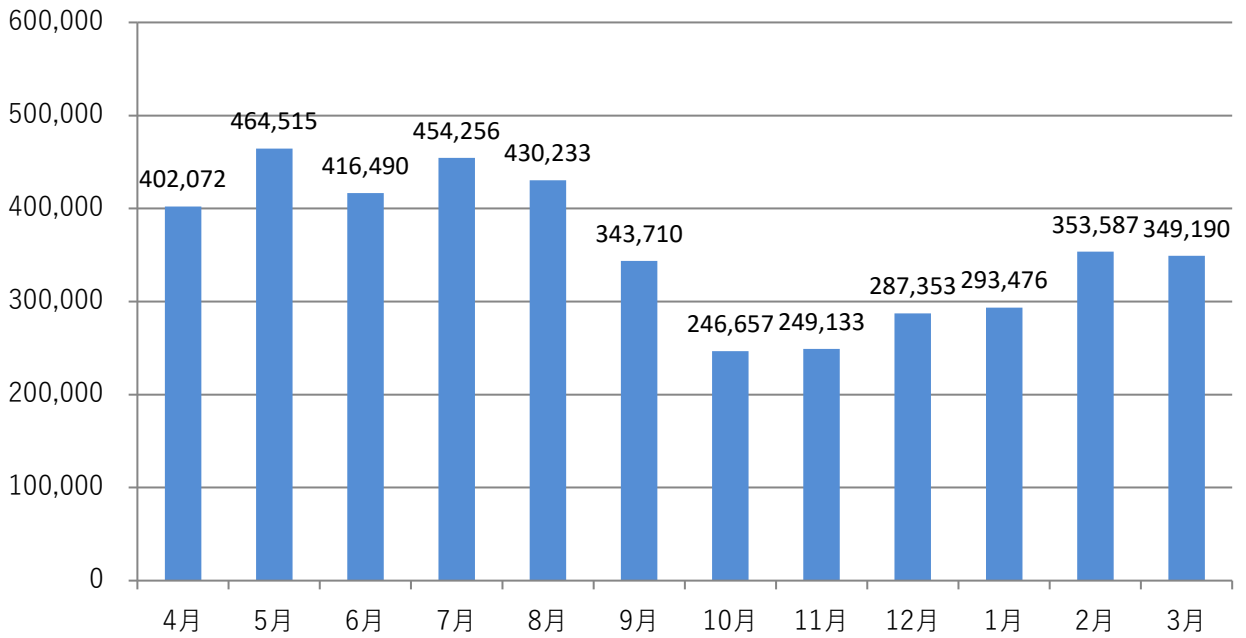
3. 環境活動

4. 新しい取組み

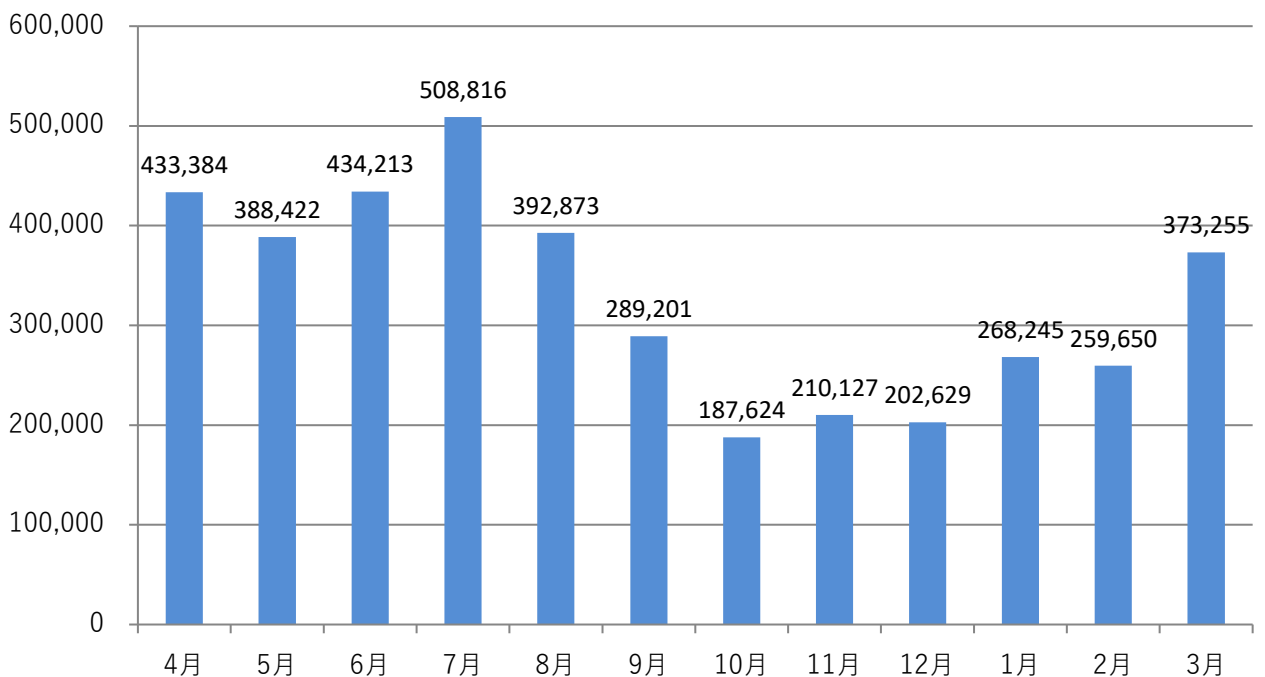
5. 資料

## 太陽光発電実績

### 2024年度太陽光発電量 (kWh)



### 2025年度太陽光発電量 (kWh)



1. はじめに

2. 環境対策

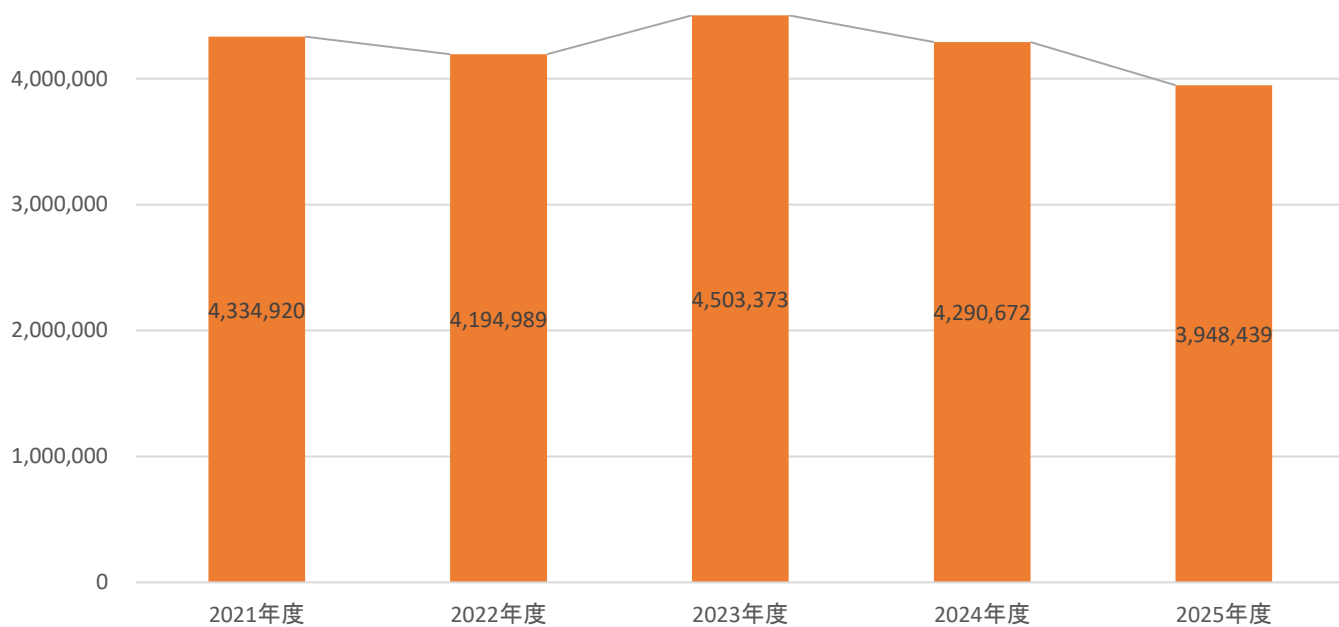
3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 太陽光発電実績

### 年間発電量推移 (単位:kwh)



1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 水素ステーションの設置

水素の活用は利用時にCO2を排出しないことから、脱炭素社会実現のキーテクノロジーとして期待されています。当社は、トラックターミナル内の水素ステーションとしては国内初の施設として、京浜トラックターミナルに水素ステーションを設置しております。

|          | 京浜      |
|----------|---------|
| 設置年月     | 2024年2月 |
| ステーション面積 | 2,463㎡  |
| 供給方式     | 液化水素貯蔵  |
| 供給能力     | 60kg/h  |
| 充填可能圧力   | 82MPa   |
| ディスペンサー  | 2基      |



水素ディスペンサー

## CNGスタンドの設置

CNGとは圧縮天然ガスのことであり、「**C**ompressed **N**atural **G**as」の頭文字をとり**CNG**と呼ばれていて、環境的なメリットが多くあります。板橋・足立・葛西の各ターミナルにはCNGスタンドが整備されております。

|           | 板橋                 | 足立                 | 葛西                 |
|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 設置年月      | 2021年7月            | 2005年9月            | 2003年11月           |
| CNGスタンド面積 | 129㎡               | 159㎡               | 242㎡               |
| ガス圧縮機     | 250Nm <sup>3</sup> | 250Nm <sup>3</sup> | 250Nm <sup>3</sup> |
| 蓄ガス器      | 250L×12本           | 250L×8本            | 250L×8本            |
| ディスペンサー   | CNG<br>ダブル1基       | CNG<br>シングル1基      | CNG<br>ダブル1基       |



板橋トラックターミナル  
CNGディスペンサー

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 省エネ機器の導入と計画

配送センターや事務所では、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目標に各種設備の更新を図っております。電気・空調・衛生設備を計画的に環境に配慮した設備へ更新することにより、適切な作業環境を維持しながら消費電力等の削減および省エネルギー化を進めております。

### 2025年度の更新実績

≪ 照明設備 ≫

- ・ JMT足立管理棟
- ・ JMT足立荷扱場1～8号棟事務室

LED照明に更新することで消費電力が約30%低減しております。

≪ 空調設備 ≫

- ・ JMT足立荷扱場1～8号棟事務室

省エネ型空調機に更新することで消費電力が約30%低減しております。



照明更新後（足立TT）



空調・照明更新後（足立TT）

### 2026年度の更新予定

≪ 照明設備 ≫

- ・ JMT葛西B棟事務室

≪ 空調設備 ≫

- ・ JMT葛西B棟事務室
- ・ JMT葛西C棟電気室

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## グリーン購入法、FSC認証・間伐材活用素材の採用

当社で実施している新築・改修工事では、引き続き「グリーン購入法」に適合した商品を積極的に採用しております。

また、職員が使用している紙コップを間伐材や竹素材といった環境に配慮した素材のものへ変更し、使用量削減への呼びかけ等を行うなど、身近なところから環境を考えた意識醸成を推進しております。

新たな取組みでは、ノベルティグッズの配布等で使用している手提げ袋を不織布製からFSC認証紙を用いた紙製に更新し、順次使用を開始します。



グリーン購入法



間伐材マーク



FSCミックス



紙製手提げ袋



間伐材を活用した名刺



使用している紙コップ（大）  
竹素材使用



紙コップ（小）  
間伐材使用



FSC認証紙を使用した封筒（社名入り）

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 脱炭素の取組み

### トラックターミナル運営による貢献

当社の4つのトラックターミナルは約90社のテナント様にご利用いただいております。各社の物流拠点として機能しております。物流業界を中心とした多くのテナント様の物流効率化に寄与することで、周辺道路ネットワークの混雑緩和を実現し、走行速度の向上と安定化から温室効果ガス排出量の削減に貢献しております。

当社はこうした事業特性を活かしての環境保全への貢献のみならず、使用エネルギーの脱炭素化や創エネ・省エネそれぞれの施策により、トラックターミナルの運営を通じた脱炭素化社会の実現に貢献してまいります。



1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## ゴミ（一般廃棄物）の減量化と再利用

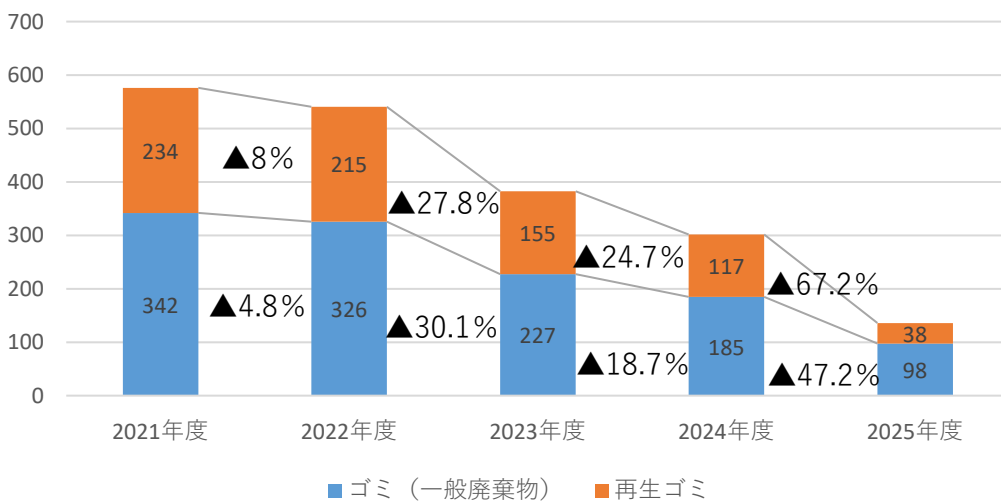
### ゴミの減量化

2025年度のトラックターミナルから排出されるゴミ（一般廃棄物）の総排出量は、2019年度から7年連続の過去最少を達成致しました。

2025年度のごみの総排出量は、2024年度と比べ約55%の削減となりました。また、再生ごみの排出量は2024年度と比べ約67%の減少となりました。一般廃棄物に関しては2024年度と比較し約47%の削減を達成しております。

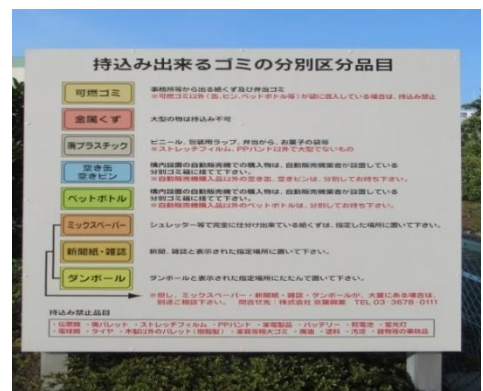
### ゴミの排出量推移

(単位：千kg)



### 再利用の促進

当社はダンボール、コピー用紙、アルミ、新聞・雑誌、ペットボトル、金属ガラス等を再生ゴミとして分別し、資源の再利用に努めております。



葛西トラックターミナル 分別看板

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取り組み

5. 資料

## 東京水道～企業の森「JMTの森」保全活動

当社は、東京都水道局が推進している「みんなでつくる水源の森実施計画」に賛同し、「東京水道～企業の森（ネーミングライツ）」の協定に基づく保全活動を行いました。

東京都水道局は多摩川の水を育むため、多摩川上流域の森林（約25,000ha）を120年にわたり管理しており、将来にわたって水道水源林を守り育て、安全でおいしい水を届けるため、多様な主体と連携した森づくりを行っております。

当社は、本協定にてネーミングライツを設定した水道水源林の一部（約2ha）を「JMTの森」と名付け、東京都水道局と協働で保全活動に取り組みました。



### JMTの森 活動報告 【令和7年度第1回】

#### 企業の森の活動を行いました！

- 日時：令和7年10月17日(金)
- 参加人数：6名
- 活動内容：間伐作業

日本自動車ターミナル株式会社の社員6名が、10月17日（金）に企業の森の活動としてJMTの森で間伐作業を行いました。秋らしいさわやかな天候の中、間伐作業の体験を通じて森林の持つ役割と水道水源林の大切さを知っていただきました。



東京都森林組合による間伐のデモンストレーション



デモンストレーションの後は、実際に間伐体験をしました！



間伐した木を輪切りにしてコースターづくりも体験♪



活動後は看板前で集合写真！

みなさま、お疲れ様でした！  
前日まで天候が少し心配されましたが、秋晴れの中、充実した活動でしたね！  
また一緒に活動しましょう！

- 日本自動車ターミナル株式会社のホームページも是非ご覧ください！  
<https://www.jmt.co.jp/>
- 昨年度までの活動の様子がホームページでご覧いただけます。  
<https://www.mizu-fusei.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/create/support/namingrights/>

保全活動の一環として行う間伐作業は、木の成長を促すため、植栽木の密度を調整して成長の芳しくない木を間引く作業です。

今回の活動では、2025年10月に現地へ赴き、間伐作業を行いました。

東京都水道局HPより引用

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取り組み

5. 資料

## 東京水道～企業の森「JMTの森」保全活動



看板前での記念撮影



間伐作業の様子



間伐材を使用したコースター及びぶんぶんごまの制作



間伐材を使用したベンチの制作（4つのトラックターミナルに設置）

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取り組み

5. 資料

## 節水・節電・アイドリングストップの啓発

節水・節電の啓発活動として、多くの方の目に留まるよう、トラックターミナル内の水や電気を使用する箇所を中心に「節水・節電」の啓発ポスターの掲示を行いました。また、「アイドリングストップ」啓発ポスターも掲示し、CO2削減の取り組みを推進しています。

今後も、トラックターミナル利用者の皆様へ向け、様々なかたちで啓発活動を行ってまいります。



節水・節電 啓発ポスター



節電 啓発ポスター



アイドリングストップ 啓発ポスター

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

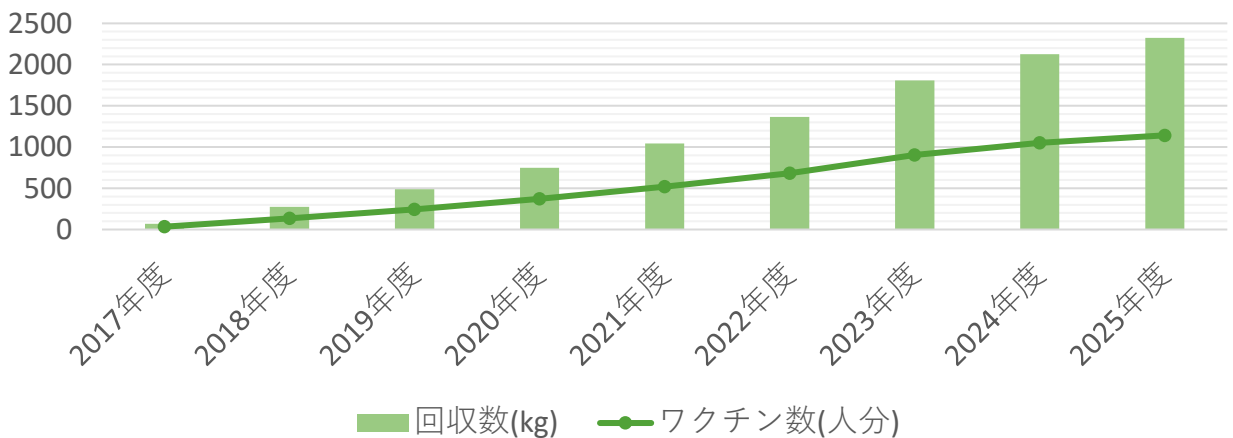
4. 新しい取組み

5. 資料

## エコキャップの回収

2016年10月より、エコキャップ(ペットボトルキャップ)の回収を行っております。2017年4月からは本社に加え、各トラックターミナルに回収ボックスを設置し、当社関係職員のみならずターミナルをご利用の方々に協力を呼びかけ、環境への配慮に対する意識向上に努めております。

エコキャップ回収 累計活動実績



2025年度は約200kgのキャップが回収されました。

回収したペットボトルキャップはリサイクル原料として使用され、その売却益は認定NPO法人を通じ、ワクチンとして世界中の子どもたちへ届けられています。2025年度は約90人分、過去累計では約1,130人分のワクチンを届けることができました。



ペットボトルキャップ回収の様子

今後も本取り組みによる更なる社会貢献に努めてまいります。

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 使用済みクリアホルダーの回収

プラスチックのリサイクルにおいて、オフィスにおける使用済みのプラスチック製品は、産業廃棄物として扱われ、再資源化や再商品化につながるケースが少ない現状にあります。

トラックターミナルを利用しているアスクル株式会社では、2022年4月より「アスクル資源循環プラットフォーム」を始動させ、使用済みクリアホルダーの再資源化・再製品化・販売を行うスキームを通じて、廃棄物の削減、使用済み製品などの回収・再資源化を促進しています。

当社は本社での回収に加え、各トラックターミナルにも回収BOXを設置し、当社職員だけでなく、トラックターミナルをご利用の方々にも回収の協力を呼び掛けております。

### 【クリアホルダー回収累計活動実績】 合計：121.58 kg

回収されたクリアホルダーは再生ペレットに加工し、製品化するマテリアルリサイクルを行っております。また、クリアファイル提供による売却額は環境NGO等に寄付されます。



本社オフィスに設置している回収箱



各トラックターミナルでの設置の様子

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## コンタクトレンズ空ケースの回収

当社では、2022年度より「アイシティecoプロジェクト」へ参加しております。「アイシティecoプロジェクト」とはコンタクトのアイシティを運営するHOYA株式会社アイケアカンパニーが実施している取組みで、コンタクトレンズの空きケースを回収・再資源化することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献する取組みです。

本社での回収に加え、2024年より各トラックターミナルにも回収ボックスを設置し、施設利用者の方へも回収の協力を呼び掛けております。現在までに、累計約5.5kgを回収することができました。

回収したケースはリサイクル業者に買取られ、その収益は日本アイババンク協会へ全額寄付されています。



本社オフィスに設置している回収BOX



各トラックターミナルでも回収を開始

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 放置自転車・バイクの回収

当社では、2024年度よりトラックターミナル構内で放置されている自転車やバイクを、発展途上国へ輸出しリサイクルを行う企業に回収を依頼し、構内の放置自転車、バイクのリサイクル活動を行っております。

### 2025年度 回収台数

| ターミナル       | 自転車 | バイク |
|-------------|-----|-----|
| 京浜トラックターミナル | 30台 | 5台  |
| 板橋トラックターミナル | 10台 | 1台  |
| 葛西トラックターミナル | 6台  | 5台  |



放置自転車回収の様子



放置バイク回収の様子

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## ペーパーレス化の推進

環境保全に向けた取組みの一環として、ペーパーレス化を推進しております。

具体的な取組みとして、これまでにデスクトップ型からノート型パソコンへの切り替え、会議資料のデータ化、資料の保管方法を全部署で見直す等の各種取組みを実施いたしました。

今年度も引き続き全部署にてペーパーレス化に向けた新規取組の検討を行い、社内における各種アンケート・通知文書等の電子による集計・発信、プリンターの集約等を実施しました。

当社は今後も各種電子化ソフトの導入や社内啓発活動の継続により、更なるペーパーレス化を推進してまいります。



ペーパーレス会議の様子



ノートPCの採用

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取り組み

5. 資料

## EV急速充電スタンドの設置

テナント企業の脱炭素化推進を支援する施策の一環として、2025年12月1日（月）、京浜トラックターミナルにEV車向け急速充電スタンドを開設しました。

設置した設備は2台同時最大120kW（1口最大90kW）の出力を有し、大型トラックにも対応できる利用スペースを設けており、EV車を2台同時に充電することが可能です。

本施設は、トラックターミナルを利用されるテナント企業、関係者およびトラックターミナルで働く従業員の皆様など、幅広くご利用いただいております。



EV急速充電スタンドの様子

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## 清掃活動（東京ふれあいロード・プログラム）

地域貢献活動の一環として、東京都建設局が実施する「東京ふれあいロード・プログラム」に参加しております。

東京ふれあいロード・プログラムは、地域住民や企業等と東京都が連携し、歩道の清掃や植栽の雑草取り等の美化活動を行うことで、潤いのある道路空間の創出を目指していく制度です。

当社は本プログラムの趣旨に賛同し、板橋トラックターミナル周辺の高島通りにおいて、定期的な清掃活動を実施しております。本活動では、歩道上のゴミ回収や落ち葉の清掃を実施し、地域の皆様が快適に利用できる道路環境の維持に努めております。

また、本活動を実施している歩道には、当社が美化活動を行っていることを示す社名入りの看板（アダプトサイン）も設置されており、地域の皆様に本活動の内容を知っていただくとともに、道路環境の美化意識向上にも寄与しております。



清掃活動の様子



アダプトサイン

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

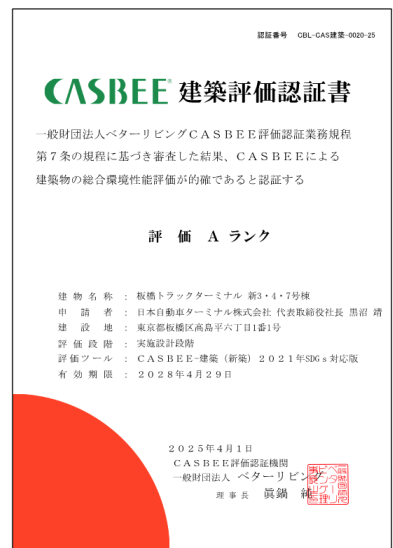
## CASBEE Aランクの取得

2025年7月に供用開始した「板橋トラックターミナル新3・4・7号棟（西棟）」では、省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮をすることで、建築物の総合的環境評価研究委員会の性能評価システムであるCASBEEでAランクを取得しました。

既存施設についても省エネルギー対策やエネルギー利用の効率化に取り組み、環境への配慮と環境負荷低減によって生じる環境価値の向上に努めて参ります。



JMT板橋新3・4・7号棟



JMT板橋新3・4・7号棟  
建築評価認証書（2025）

### 「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」とは

建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

評価結果は「Sランク（素晴らしい）」から、「Aランク（大変良い）」「B+ランク（良い）」「B-ランク（やや劣る）」「Cランク（劣る）」という5段階のランクが与えられます。

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

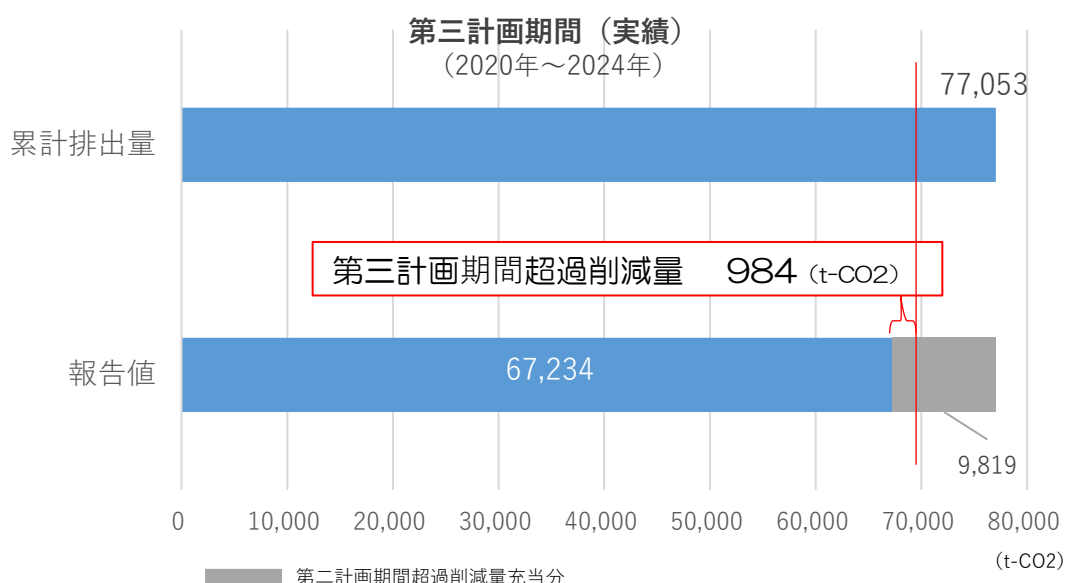
5. 資料

## 省エネ法（エネルギー使用合理化等に関する法律）

当社はトラックターミナル全体の年間のエネルギー使用量の合計が1,500kl（原油換算）以上となる為、省エネ法を所管する経済産業省より特定事業者として指定されております。そのため、エネルギー管理統括者の選任、中長期計画書及び定期報告書の作成が義務付けられており、適切な届出を行っております。

## 東京都環境確保条例 （都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）

京浜・葛西トラックターミナルは、年間のエネルギー使用量の合計が1,500kl（原油換算）以上となる為、東京都環境確保条例に基づく、温室効果ガス総量削減義務の対象となり、これまで第一、第二計画期間ともに、削減目標を達成してまいりました。第三計画期間（2020年度～2024年度）においても温室効果ガス総量削減に資する様々な取組みの成果により、削減義務を達成することができる見通しとなっております。



第四計画期間（2025年度～2029年度）への移行に際し、2025年度より実質再エネ電力の導入を行うなど、温室効果ガス総量削減に資する新たな取組みを進めております。

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## JMT近年の環境保護への取組み～ハード面～

| 実施年   | 取組み内容   |
|-------|---|
| 2001年 | ・ 葛西 CNGスタンド完成（以降、拠点拡大）   |
| 2010年 | ・ 京浜6号棟 太陽光発電設備設置   |
| 2011年 | ・ 震災を契機に節電対策として遮熱塗装を導入  |
| 2012年 | ・ 京浜管理棟 太陽光発電設備設置<br>・ 足立荷扱場 LED照明設置  |
| 2013年 | ・ 板橋、足立管理棟 太陽光発電設備設置  |
| 2014年 | ・ 葛西C棟 太陽光発電設備設置<br>・ 京浜E棟、葛西D棟 LED照明設置   |
| 2015年 | ・ 京浜C棟 太陽光発電設備設置<br>・ 足立荷扱場 太陽光発電設備設置   |
| 2017年 | ・ 京浜立体駐車場 LED照明設置   |
| 2018年 | ・ 京浜ダイナベース 太陽光発電設備設置  |
| 2021年 | ・ 京浜、足立、葛西 荷扱場LED照明設置   |
| 2022年 | ・ 京浜B棟、4TT屋外灯 LED照明設置   |
| 2023年 | ・ 板橋新1・2・5・6号棟（東棟） 太陽光発電設備設置<br>・ 京浜A棟・6号棟 事務室空調省エネ型へ更新<br>・ 葛西B棟 LED照明設置・衛生設備省エネ型へ更新 |
| 2024年 | ・ 京浜 水素ステーション完成   |
| 2025年 | ・ 京浜 EV急速充電スタンド完成   |



太陽光発電設備



CNGスタンド



水素ステーション



EV急速充電スタンド

1. はじめに

2. 環境対策

3. 環境活動

4. 新しい取組み

5. 資料

## JMT近年の環境保護への取組み～ソフト面～

| 実施年   | 取組み内容  |
|-------|--|
| 2004年 | ・ 木製廃パレット共同回収開始  |
| 2005年 | ・ 地球温暖化対策計画書提出   |
| 2011年 | ・ 震災を契機に節電対策として遮熱塗装を導入   |
| 2016年 | ・ エコキャップ回収運動開始   |
| 2017年 | ・ 京浜C棟、ダイナベース<br>日本政策投資銀行より「Green Building認証」<br>を5つ星評価で取得<br>・ 京浜ダイナベース<br>「CASBEE建築評価認証 Aランク」を取得 |
| 2019年 | ・ 環境物流啓蒙賞受賞<br>・ ライトダウンキャンペーン実施<br>・ 「チームもったいない」への参加   |
| 2020年 | ・ エコバッグの作成<br>・ 本社周辺清掃<br>・ 「東京水道～企業の森」協定締結<br>・ 「ゼロエミッション東京」へCO <sub>2</sub> 超過削減量寄付              |
| 2021年 | ・ 葛西A棟<br>「CASBEE建築評価認証 Aランク」を取得<br>・ プラスチック・スマートキャンペーンへの登録  |
| 2022年 | ・ 「アスクル資源循環プラットフォーム」への参加   |
| 2023年 | ・ 板橋1・2・5・6号棟<br>「CASBEE建築評価認証 Aランク」を取得<br>・ ノートPCへの切替を機にペーパーレス化推進<br>・ 脱炭素化プロジェクトを始動              |
| 2024年 | ・ 全拠点でのコンタクトレンズケース回収開始   |
| 2025年 | ・ 全拠点での放置自転車リサイクル回収開始  |



発行日 2026年4月

発行 日本自動車ターミナル株式会社  
東京都千代田区平河町二丁目7番9号  
(代表)03-3556-0781  
<https://www.j-m-t.co.jp/>